



*気温 20℃以下になりますと、乾燥不足になる為（夜間注意）

暖かく、風通しの良い所で塗布、乾燥をして下さい。

施工技術指導書

建築基準法施行令第1条第五号に係る 「準不燃材料」基準に適合した施工法

必須：施工技術指導書の熟読を

ノットバーン:CR, NS と他社塗装品(塗膜品)との併用では
十分な加工処理テストを行った結果に基づき、施工に掛かって下さい。

工程 ①ノットバーン:CR-1=乾燥=②ノットバーン:NS-2 =乾燥=
=③着色塗装剤(出来る限り無機顔料品、防火塗料、減災に近いものを使用下さい)

但し③の加工以前にノットバーンと使用塗装剤との化学反応テストが必要です。

検査は片端材にノットバーンCR、NSの順番に塗布と乾燥を繰り返し、乾燥後に、
使用塗装剤を塗布、下記の結果の様な反応が出なければ、加工処理はOKです。

判定結果:(白斑点、白華化、ケロイド状、ひび割れ、粘着(ベタツキ))等現象が直ちに起こります
ので、使用不相当と成ります。

受託合成研究所
サワダケミカル社

施工技術指導書 (取扱い要約書)

ノットバーン CR-1 (下塗り用)水性タイプ

NS-2 (上塗り用)透明仕上り

● 特 長

- ・浸透性タイプであり、木材の表面に作られる塗膜のハガレ、フクレ、ひび割れ等などは生じません。
 - ・ノットバーン(CR-1・NS-2)は、クリアータイプで、白木天然木の持つ美しい木目や風合いを長く保持します。
 - ・木材防腐作用と防虫、防カビ効果を発揮します。素材の性質を損なうことは、有りません。
 - ・作業性が抜群で、メンテナンスが簡単です。
 - ・水性透明タイプ。作業道具は水洗いで簡単に除去出来、手軽に取扱いが出来ます。
- ※CR-1、NS-2共に使用に先立って容器を十分に振り、棒で掻きまぜて下さい。
- ※本書(4頁分)を熟読の上、作業にお進み下さい。この行為での確認指針が欠けた場合には責任は負いかねます。是非とも厳守ください。

◎大臣認定の条件 「ノットバーン」は下地調節後、白木に直接、一番先に塗布下さい。*理由は下記参照

- *理 由 着色塗料:樹脂ベース剤・コート剤が塗布されているものは、火災等の高熱源で塗膜が燃焼、剥離、消滅する為です。
- 上層部に塗布された「ノットバーン」も、下層の着色塗料等と共に剥離する為、効果は出ません。

◆ 塗装仕様

- ※CR-1とNS-2の混合は薬液の分離を招き、使用不能と成ります。
- 絶対に混合しないで下さい。

● 素材・下地調整の方法

塗装面の状態	処 理 方 法	材 料 ・ 用 具	消防法対策
新 し い 木 材	ゴミ・埃などを除去して清掃する	サンドペーパー ポロ布	木材の含水率 針葉樹材25%以下
ノットバーン塗装面	ゴミ・埃などを除去して清掃する	サンドペーパー ポロ布	
ヤニ分の多い木材	ラッカーシンナー又はアルコール	ラッカーシンナー又はアルコール	
コート剤着色塗装	使用出来ません。		

■ ノットバーン塗装仕様

工 程	防耐火材料	使 用 方 法	標準使用量	塗り重ね乾燥時間	備 考
下塗り	ノットバーンCR-1 クリアータイプ	ハケ塗り 吸い込ませるように塗返し(スプレー塗装不可) むらなく均等に塗る(下記図①参照) 表面 0.06 L/㎡・裏面 0.06 L/㎡ 両面塗布の事。火焰の接する処に	約 8.3 ㎡/L (0.12 L/㎡) 含浸率は素材により差異あり 分厚い下地の場合 (※注4)参照	10 時間以上 (※注2 参照)	施 工 方 法 に準ずる
上塗り	ノットバーンNS-2 クリアータイプ	*CR-1と同様塗布方法で ハケ塗り 吸い込ませるように塗返し(スプレー塗装不可) むらなく均等に塗る(下記図①参照) 表面 0.06 L/㎡・裏面 0.06 L/㎡ 両面塗布の事。火焰の接する処に	約 8.3 ㎡/L (0.12 L/㎡) 含浸率は素材により差異あり 分厚い下地の場合 (※注4)参照	12 時間以上 (※注3 参照)	冬場は、 (※注1) 作業

※ 塗り重ね乾燥時間は気温20℃湿度65%時を表示。

* 特に夜間に気温が下がりますので、ご注意ください。

※ 注1)冬場は気温が低い為、下塗り(CR-1)を塗布後は、よく乾燥させて下さい。

※ 注2)完全乾燥を確認後上塗り(NS-2)への作業にお進み願います。

※ 注3)CR-1が未乾燥の場合、湿気により粘着が発生する事があります。

※ 注4)柱等の20mm以上の分厚い下地の塗布は6面の塗布となります。

(但し、角材は建築主事より承認された場合のみ使用可能)

※ 必ず、No.3枚目の「処理注意事項【5】」を厳守ください。

- ①下記図の様に、ハケを塗り始め位置から塗布し始め、端まで来たら、そのまま切り返して、塗り始め位置まで塗布する(木材全体に)。
- *この作業を木材全体に濡れた状態で、2回繰り返してください。



【木 材】

◆ 取扱・使用上の注意事項 ※No.2～4枚目も必ずお読みください。

- ①使用に先立って缶・ボトル等を十分に振り、棒で、かき混ぜて下さい。
使用中にも時折、良くかき混ぜてください。
- ②ノットバーンCR-1、NS-2 共に原液のまま使用下さい。稀釈は出来ません。
- ③ノットバーンCR-1とNS-2との混合は絶対避けて下さい。液が分離致し、使用不可と成ります。
- ④塗膜のついている塗装面には、ノットバーンCR-1並びにノットバーンNS-2は塗れません。
塗膜は必ずサンディング等により取り除いて下さい。
- ⑤四面火災の触れる箇所と思われる部位には、塗り重ねをこまめに行って下さい。
- ⑥標準使用量は、被塗材の樹種、塗装面、材のひび割れ、含水率などにより、ノットバーンの吸収率は異なります。
- ⑦その他、容器に記載の注意事項をよくお読み下さい。

◎ 仕 上 げ（ノットバーン CR-1・NS-2 の塗布後に）※ No.4 の③もご参照下さい。

工 程	塗 料	使 用 方 法	標準使用量	備 考
仕 上 げ	顔料(無機)塗料	水性・油性塗料塗布	メーカーの指示通り	試し塗りを 実行下さい
クリアー仕上げ	水性ステイン(カレス)	屋内木部用水性ステイン塗布	メーカーの指示通り	

： 上塗り着色塗料は、化学反応により防炎性能及び、表面破壊・造成不良（白斑点、白華化、ケロイド状、ひび割れ、粘着（ベタツキ）等）となる事が多いので、必ず塗布テストを行って下さい。
テスト工程は表紙に明記してあります。

： 既塗装の場合（*着色塗料や保護剤等の塗装が施された材料）現状ではノットバーンの塗装は出来ません。

■ 施工方法

ノットバーンは大臣認定品です。大臣認定の権威を離脱する様な作業行動が有りましたら、確認指針により建築指導課主事等への通知が令第18条3項及び、消防法第7条2項に規定の適応と成ります。

- *表面を綺麗にして、乾かして<基本工程>の順序で作業を進めてください。
- *原液は稀釈せず使用前にはよく攪拌して、ご使用下さい。
- *塗布方法は刷毛塗りにて。
- *耐水性、防湿性、耐薬品性の効果も発揮させる為には1㎡に120ml(両面塗り合算)を目安に塗布して下さい。
- *施工環境では降雨時、降雪時、20℃以下や湿度の高い時での作業は避けて下さい。
- *乾燥時間は指触乾燥で約10時間 完全乾燥時間は約12時間（20℃）以上
- *暖かく、風通しの良い所で塗布し、乾燥させて下さい。
- *器具の洗浄は作業後、すぐに水等で洗い流して下さい。
- *保管は5～35℃の換気の良い室内で密栓して保管して下さい。
- *開封後2ヶ月以内に使用して下さい。（開封後2ヶ月以上放置した場合、使用不可）

（注意事項）

- 気温20℃でご使用下さい。
- 使用の際には、ゴム手袋等をし、汚れても支障のない服装で作業下さい。
- 残った塗料は密封し、冷暗所に保管し河川等に廃棄せず産業廃棄物処理をして下さい。

（使用方法）

- 刷毛塗り返し全ての面材に塗布すること。
- 火災による火の回りが予想出来る基材の接触面に塗布する。

(基本塗布量)

120ml/m² 10L容器入り

塗膜の付いている塗布面には、塗膜は必ずサイディング等により取り除いて下さい。

(乾燥時間)

10時間～12時間 (気温20℃)

■ 処理注意事項

1. 処理対象物はスコッチコート・乾燥剤などの水はじきコートや吸水性の無いもの、又は、洗浄時の洗剤をよく取り除けていないものには使用出来ません。
2. 変色する場合もありますので、チェックする為に部分的に施工するか見えない部分を湿るまでスプレーして、白い布で拭いて下さい。
3. 表面に白化現象が起こった場合には、濡れタオル等にて、強く摩擦を掛けて、拭き取って下さい。(防火性能は変わりません。)
4. 摂氏20℃が最適施工温度です。薬剤の希釈、凍結は避けて下さい。
5. 乾燥不良を起こす要因 での作業は避けて下さい。御社に責任を負って戴く事と成ります。
 - イ) 下地処理が出来ていない。
 - ロ) 20℃以下の寒い日。35℃以上の暑い日。高湿度の条件下。
 - ハ) 無風状態での放置。
 - ニ) 表面のたまり、ムラ塗り。
6. 吐き気を発した場合は、直ちに使用を中止して下さい。子供の手の届かない場所に置いてください。
7. 目に入ったら、よく水で洗い流し、眼科医にみせてください。
8. 内服しないでください。もし飲んでしまったら、水かミルクをのんで医者を呼んでください。

○ノットバーンの上から塗装される場合は、必ず塗布テストをしてから、御使用下さい。
表面が白くなったり、ひび割れ等が生じた場合は、使用しないで下さい。

○確認検査や消防査察では残量が出た場合は手抜き工事との判断で不適切と成り、
承認されませんので、厳正な作業をお願いします。

必 見 施工以前に、施工技術指導書を塾読の上、作業へのお掛かりを

基本工程（概略）

ノットバーンCR：NS の使用要領（VOC規制外材料：F4表示義務なし）

* 使用前に必ず棒等で攪拌して下さい。

① **CR-1を使用** ムラ塗りの無い様丁寧に原液のまま御使用下さい。

塗り方：柱等の20mm以上の分厚い下地（建築主事の使用承認要）
の塗布は、六面に塗布が必要。

又、壁材等には、表面と裏面へ塗布下さい。

・マツ材系 <44品種> ハケ塗処理 二往復で1回塗り 其の後十分な乾燥を
※ 建築基準法ではマツ材系のみが承認の対象と成ります。

※ 消防法規制では基材（下地）は、物品木材全般が承認されます。

・スギ材系 <消防法> ハケ塗処理 二往復で1回塗り 其の後十分な乾燥を

・ヒノキ材系<消防法> ハケ塗処理 三往復で1回塗り 其の後十分な乾燥を
（樹種、気温、湿度、環境等に適切な配慮をして下さい）

樹種は国内産、外国産材を含む、当社調べ

② 次に**NS-2を使用**

CR-1乾燥後に①と同じ要領で塗布して下さい。

※ 注1. CR-1 と NS-2 との混合は化学反応を誘発します（絶対に避ける事）

※ 注2. ノットバーンCR：NSが半乾き状態でも同じ現象が生じますので、ご注意下さい。

③ ノットバーン仕様の表面に加工処理をされる場合（基材を防火処理加工後に着色塗料作業を）

着色塗料やクリヤー品そして**セラミック系や自然塗料等**使用の場合

* 油性成分品は化学反応による支障は殆んど有りませんが、防火力のあるもの
（無機顔料入り）をご使用願います。

* 水性タイプ品は別添でのテストを行った後、支障が無ければ御使用頂けます。

（現象状態 白斑、粒状、ゲル状、ヒビ状、ケロイド状、白華現象、粘着強増等、何れも化学反応状態です。塗料樹脂が化学変化を起こす現象で、不適合品ですので取替えが必要です。）

以上、作業には十分な防火薬剤を認識の上、ご使用ください。

※ 消防法(省令)出荷証明書の発行依頼について

行政上承認される為の手続きにつき、偽文書行使罪にならない様、正確な申請をお願いします。

手段に基づく準不燃措置届出書(防火塗布工事届出書)に依る塗布面積及び使用量と施工技術指導書に依る適切使用量に基づき判定されますので慎重な記入をお願いします。

ノットバーン CR-1・NS-2 の塗布乾燥後の着色塗料や保護剤等の塗装について

ノットバーン CR-1・NS-2 の国交省大臣認定(QM-0241)を取得した際には着色塗料や保護剤等を塗布したものでは大臣認定を取得して居りませんので、着色塗料や保護剤等を塗布されたい場合はご担当の建築主事様に必ず確認が必要となりました。

又、大変恐れ入りますが、以前トラブル無くご使用頂いた塗料でも環境下により乾燥不良を起こす等のトラブルが発生する塗料も御座いますので、必ず端材や見えない箇所にてテスト行って頂き、化学反応等の不具合が起こった場合は着色塗料や保護剤等の塗布は中止頂けます様お願い申し上げます。

尚、保証等は御座いませんので十分ご注意頂き、ご検討頂けます様お願い致します。

サワダケミカル社

〒604-8375

京都市中京区西ノ京池ノ内町 22